

府縣區 名分	鯉		鰻		鱸		合計 （包含其他） 金額 円
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
愛媛	一	一	一	一	一	一	一
高知	七一	六六	四〇	五九	九四	五六八	八四
福岡	一〇、六	一五八	一	一	二五八	一八九	一九四
大分	三一	六三	一三、一	一七一	三三、二	三六〇	八三
佐賀	一一	一一	一	一	一八、二	一四六	二一
熊本	一一、五	二五、三	四八、〇	六二、〇	四、一	三七	一二七
熊崎	二八	四九	一	一	一	一	四九
宮島	二九	八〇	三七、七	二三、〇	一	一	八六
鹿兒島							

第三章 法律制定

第一節 省議決定

計畫ニ關スル説明、法令案審議會議決

整理計畫ニ關スル調査資料漸ク蒐集セルヲ以テ明治四十二年六月以來整理計畫竝之カ施行ノ方
 法等ニ付精査審議ヲ重ネ漸クニシテ成案ヲ告ケタルヲ以テ案ヲ具シテ同年八月三十日本省審議
 會ニ提議スルニ至レリ右審議會ニ於テ專賣局長官ノ説明シタル概要左ノ如シ

内地ニ於ケル鹽ノ生産額ハ毎年約九億六七千萬斤ニシテ此ノ外ニ尙關東州鹽三四千萬斤臺灣
 鹽四五千萬斤外國鹽五六百萬斤ノ移入及輸入アリ鹽ノ供給ハ合計十億四五千萬斤ニ上ル而シ
 テ其ノ消費額ハ約十億四五千萬斤ニ達スルヲ以テ需要供給ノ平衡ヲ得タルモノト謂フヘシ而
 シテ總供給高ノ九割強ヲ占ムル内地鹽業ノ狀況如何ト謂フニ内地ニ於ケル鹽ノ生産地ハ十州
 瀨戸内海地方ヲ首トシ九州沖繩東海東山北陸山陰ノ諸道ニ涉リテ凡海岸ノ存在スル地方ハ何

レモ多少鹽ノ生産アラサルハナシ其ノ内賠償價格區域ノ第一區タル十州地方ニ於テハ產地集團シテ産額ハ饒多品質ハ齊一ニ生産費ハ割合ニ寡少ニシテ鹽業ノ状態比較的ニ組織的ナリト雖十州以外ノ生産地ニ於テハ其ノ方法組織的ナラス產地散在産額寡少生産費隨テ多額ヲ要シ當業者ハ概ネ兼業者ニシテ製鹽ニ従事スル人夫ニ至リテハ自家労働者其ノ多キヲ占ムルノ狀況ナリ今十州以外ノ鹽業カ日本鹽業ノ全體ニ對シテ如何ナル位置ニ在ルヤヲ知ラムト欲セハ左ノ事實ヲ舉示スレハ足ルヘシ即チ全國ニ於ケル生産地ノ町村數ヲ調査スルニ總數ニ於テ五百四十六内十州以外ノ地方ニ在ルモノハ三百三十三ニシテ全國ノ六割ニ達ス製鹽人員ハ全國ノ總數二萬七千六百餘人ニシテ其ノ十州以外ニ屬スルモノ一萬八千餘人即チ全數ノ六割強ニ當ル然ルニ鹽田ノ段別ヲ以テ比較スルトキハ十州以外ノ段別ハ全國總段別ニ對シ約三割弱ニ過キス尙鹽ノ産額ヲ以テ比較セハ其ノ歩合一層少ナク全國ノ總生産額ニ對シ僅ニ一割強ニ當ルニ過キス之ヲ要スルニ十州以外ノ生産地タル整理ニ屬スヘキ地方ニ於ケル製鹽ノ事業ハ極メテ微々タルコトヲ證スルニ足ル本按ノ計畫ニ屬スル十州以外ノ生産地ヲ整理セハ其ノ結果約一億四千萬斤ノ鹽ノ生産ヲ減少スルモノニシテ此ノ缺減ハ如何ニシテ補給シ得ヘキヤ是ハ關東州鹽及臺灣鹽ノ二者ニ據リ補給スル計畫ナリ今臺灣及關東州ニ於ケル鹽生産ノ狀況ヲ述ヘムニ關東州ニ在リテハ目下ノ現況ヲ以テスルモ大日本鹽業株式會社ハ毎年約六千餘萬斤ヲ生産シ得ヘク其ノ他滿韓鹽業株式會社東洋製鹽株式會社ニ於テ三四千萬斤ヲ産出シ合計約一億斤ヲ生産シ得ル見込ナリ將來ニ於テ鹽田ノ成熟鹽夫ノ熟練ヲ積ムニ至ラハ其ノ額ヲ増加シテ一億五六千萬斤ニ到達セシムルコト敢テ難事ニ非ラサルヘキヲ信ス抑モ鹽專賣ニ對スル世間ノ非難ヲ按スルニ鹽稅カ貧富均一ニ賦課セラルルモノナルヲ以テ不可ナリトノ議論ノ如キハ格別傾聽ノ値ナシト認ムルモ内地鹽ノ品質不良生産費高貴ナルニ拘ラス強テ之ヲ保護セム

カ爲ニ品質優良價格低廉ナル臺灣及關東州ノ產鹽ヲ排斥シ其ノ結果消費者ニ重稅ヲ負擔セシムルハ策ノ得タルモノニ非ストノ議論ノ如キハ近時識者ノ間ニ唱道セララルル有力ナル反對論ニシテ頗ル注目スヘキノ議論ナリトス予ヲ以テ之ヲ見レハ内地ノ產鹽ハ假令少シク高價ナリトハ謂ヘ内地消費者ニ供給スヘキ鹽ハ其ノ大分ヲ内地ノ既成鹽田ニ仰クヲ以テ食物獨立其ノ他諸般ノ關係上策ノ得タルモノト思考ス臺灣關東州鹽カ低廉ナリトノ故ヲ以テ内地ノ鹽業全部ヲ整理スルハ頗ル極端ナル議論ニシテ俄ニ首肯スル能ハサルト同時ニ之カ反對ノ議論ニ走セ内地ノ鹽業ハ不經濟ナルニ拘ラス徹頭徹尾現狀ノ儘全部之ヲ維持セサルヘカラストナスカ如キ是亦排斥セサルヘカラスト要ハ適地ヲ存シテ不適地ヲ整理スヘキノミ抑モ十州ニ於テハ自然ノ適地トシテ產地集團シ其ノ生産スル鹽質能ク均齊シ產額亦饒多ニシテ之ニ要スル生産費ハ割合ニ低廉ナリ之ニ反シテ十州以外ノ鹽業カ微々トシテ振ハサルコト前ニ述フルトコロノ如シ是其ノ適地ニ非サルヲ證スルモノトシテ之ヲ整理スルモ爲ニ產額ノ減少スルコト一億四千萬斤ニ過キス大體上内地ノ鹽業ニ大打撃ヲ及ホスモノニ非ス而シテ其ノ整理ニ依リテ生スヘキ利益ハ後段述フル所ノ如シ故ニ彼是事實ヲ綜合酌量シテ本案ニハ十州鹽田ヲ維持繼續セシメ其ノ他ノ鹽田ヲ整理スルコトトナセリ之カ經費ハ本案掲上スル如ク約三百餘萬圓ヲ要スト雖今日ノ專賣組織ニ對シテハ何等カノ根本的整理ヲ施スニ非スムハ鹽專賣ノ根柢ハ決シテ鞏固ナルヲ得ス本案ハ實ニ鹽專賣制度ノ改善上必要ナルノミナラス又之ヲ維持スル上ニ於テ絶對的ニ必要ナルコトヲ確信ス今ヤ政府ハ來年度ノ財政整理計畫トシテ一千萬圓ノ減收ヲ賭シテ一般稅法整理ニ著手セラル所得稅營業稅、織物消費稅、通行稅等ニ於テ何レモ多少ノ減稅ヲ爲スヘキ計畫ナリト聞ク惡稅ノ第一位ト目セララル鹽專賣ニ對シ此ノ際何等カノ改善ヲ加フルニ非サル限り本稅ノ維持ハ頗ル困難ニ陷ルヘキコト當局ノ信シテ疑ハサルトコロナリ

夫レ減稅ハ減收ヲ意味ス今收入ヲ減スルコト無クシテ鹽專賣ニ依ル國民ノ負擔ヲ輕減セムト欲セハ其ノ策本案ヲ措テ他ニ在ルコトナシ本整理案タル整理期間ヲ三年トセハ之ニ要スル經費ハ三百八十餘萬圓ニシテ製鹽業者ニ交付スヘキ金額三十五萬餘圓、鹽田ノ買收費二百五十餘萬圓、製鹽設備ニ對スル交付金額九十萬餘圓等ヲ要シ一年約百二十萬圓宛ヲ支出シテ始テ整理ノ目的ヲ達シ得ヘシ而シテ之ニ依リテ政府カ收得スヘキ益金ハ七十四萬圓餘ニ達スルモ此ノ結果トシテ回送費ノ負擔ヲ増加スルノミナラス基金ニ年利六朱ヲ要スルモノトシテ計算セハ十一年ヲ費シテ全經費ヲ償却シ其ノ後八年々六十五萬餘圓ノ利益ヲ生スル計算ナリトス、本整理案ニ關スル大體ノ事由ハ前述ノ如シ若本案ノ如キ整理ヲ爲ササルニ於テハ鹽價ノ低落ヲ見ルコト極メテ困難ナリ當局ノ計畫ニ依レハ本案整理ニ依リテ年々得ル所ノ六十五萬餘圓ヲ以テ回送費ノ負擔ニ當ルトキハ回送鹽百斤ニ對シ約九錢七厘ノ鹽價下落ヲ見ルヲ得ヘシ而シテ之カ爲專賣收入ハ毫モ影響ヲ受クルコトナシ、鹽田整理ノ急務ニシテ之ヲ今日ニ於テ斷行スルノ必要ナルコト前述フル所ノ如キヲ以テ之ニ要スル經費ハ國庫ニ於テ支辨セラレムコトヲ望ムニ云々

法令案及參考書左ノ如シ

法律第 號

第一條 鹽專賣法第六條及第四十條ノ二ニ依リ鹽及鹹水製造區域制限ノ爲鹽及鹹水ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽又ハ鹹水製造者、製鹽地所有者、鹽及鹹水製造用ノ器具器械所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ左ノ各號ノ交付金ヲ下付ス

- 一 鹽製造者ニ對シテハ收納鹽賠償金額ノ二割ニ相當スル金額
 - 二 鹹水製造者ニ對シテハ鹹水賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額
 - 三 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ト鹽及鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額トノ差額
 - 四 鹽及鹹水製造用ノ器具器械所有者ニ對シテハ現ニ鹽及鹹水製造ニ使用スル器具器械ノ價額ト鹽及鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額トノ差額
- 前項ノ製鹽地ニ付所有者ニ非サル者納稅義務ヲ有スルトキハ其ノ納稅義務者ニ、器具器械ニ付質權ヲ有スル者アルトキハ其ノ質權者ニ對シ前項ノ交付金ヲ下付ス

第二章 法律制定

第一項第四號ニ依リ交付金ヲ下付スヘキ器具器械ノ種類品目、數量ハ政府之ヲ決定ス

第二條 前條第一項第一號及本條第三項ノ收納鹽賠償金額ハ鹽製造禁止期日ノ屬スル年ノ前二箇年間ノ收納鹽賠償金額ノ平均ニ依リ、前々年二月以後ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前年ノ收納鹽賠償金額ニ依ル

前條第一項第二號ノ鹹水賣渡代金ハ前項ニ準シ之ヲ計算ス

前條第一項第三號ノ製鹽地ノ價額ハ其ノ製鹽地ニ對スル收納鹽賠償金額ノ百分ノ十一ニ相當スル金額ノ二十倍トス但シ鹽田ニ依ラマシテ鹽ヲ製造スル製鹽地、鹹水ノミヲ製造スル採鹹地、官有地ニ於テ採鹹スルモノノ採鹹地以外ノ製鹽地ノ價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

前條第一項第三號ノ鹽及鹹水製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

前條第一項第四號ノ鹽及鹹水製造用ノ器具器械ノ價額ト鹽及鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額トノ差額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

第三項ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス

第三條 鹽製造用ノ建物所有者ニ對シテハ第一條第四號ニ準シ交付金ヲ下付スルコトヲ得

大藏省令第 號

鹽專賣法施行細則改正案

第十一條ノ三 鹽專賣法第六條第一項ニ依リ鹽ノ製造區域ヲ制限スル必要アルトキハ其ノ制限區域外ニ於ケル鹽ノ製造ヲ禁止スヘシ但シ其ノ區域外ニ於テ現ニ許可シタル沃度及硝石製造副産鹽竝鹹水混和以外ノ再製鹽ノ製造場ハ制限區域内ト看做ス

前項ニ依リ鹽ノ製造ヲ禁止シタル際現存スル鹹水ハ鹽專賣官署長ノ認可ヲ受ケ其ノ指定シタル期間ニ限り之ヲ製鹽スルコトヲ得

鹽ノ製造ヲ禁止スヘキ區域及期日ハ豫メ之ヲ告示ス

第十一條ノ四 鹽ノ製造ヲ禁止シタル際現存スル未納付鹽ハ禁止後五日以内ニ、前條第二項ニ依リ製造シタル鹽ハ製造後五日以内ニ所轄鹽專賣官署ニ申告シ其ノ指定シタル期日内ニ之ヲ納付スヘシ

第四十條ノ二 鹹水ノ製造ニ關シテハ第一條乃至第十條第十一條ノ二及第十一條ノ三ノ規定ヲ準用ス

附則

本令中專賣局收納所ヲ鹽專賣官署ニ專賣局收納所長ヲ鹽專賣官署長ニ改ム

大藏省令第 號

第一條 明治四十三年法律第一 號第一條第一項第一 號乃至第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ鹽及鹹水製造禁止後六十日以内ニ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ

一 第一號ノ交付金下付ヲ請求セムトスル者ハ製鹽場位置、製造方法、製造許可及承繼ノ年月日、同法第二條第一項ニ依ル各年別納付鹽賠償金額

二 第二號ノ交付金下付ヲ請求セムトスル者ハ採鹹地名、地番、製造許可及承繼ノ年月日、同法第二條第二項ニ依ル賣渡數量、代金並其ノ賣渡先

三 第三號ノ交付金下付ヲ請求セムトスル者ハ製造者住所氏名、製造方法、製鹽地名、地番、地目、段別、地價、同法第三項ニ依ル製鹽地ノ價額、製鹽禁止ニ基ク見積減價、現地目力鹽田ニシテ他ノ地目又ハ地類ニ變換セムトスルモノナルトキハ其ノ變換スヘキ地目、地目又ハ地類變換ノ爲加工ヲ

要スルモノナルトキハ其ノ成工年期及其ノ見積工費

前項各號ノ場合ニ於テハ計算ノ基礎及必要ナル説明ヲ附記シ且第一號及第二號ノ申請書ニハ製造許可書ヲ、第三號ノ申請書ニハ土地臺帳謄本登記簿謄本ヲ添附スヘシ

第二條 明治四十三年法律第 號第一條第三項ノ器具器械ノ種類、品目及同法第三條ノ建物ノ種類ハ左ニ掲ケタルモノニ限ル

一 器具器械

イ 金子

鹽田面爬起ニ用ウルモノ

ロ 振 鍬

撒砂ヲ鹽田面ニ撒布スルニ用ウルモノ

ハ 濱持車

撒砂ヲ撒布シ及其ノ運搬ニ用ウルモノ

ニ 馬 鍬

撒砂ノ乾燥ヲ促進スル爲其ノ分布及搔起ニ用ウルモノ地方ニ依リ手引又ハ濱曳ト稱ス

ホ 引 板

撒砂面ヲ均ラスニ用ウルモノ

ヘ 寄 鍬

撒砂ヲ寄セ集ムルニ用ウルモノ地方ニ依リ寄柄振ト稱ス

ト 押柄振

撒砂ヲ押シ集ムルニ用ウルモノ

チ 沼井、垂笮、垂桶、垂槽

撒砂ヲ入レ鹹水ヲ浸出スルニ用ウルモノ

リ 入 鍬

寄セ集メタル撒砂ヲ浸出装置中ニ搔キ入ルルニ用ウルモノ地方ニ依リ入柄振ト稱ス

ヌ 沼井堀鍬

沼井内ノ砂ヲ堀出シ又ハ沼井坪ヲ浚渫スルニ用ウルモノ

ル 技條架、海水濃縮槽及其ノ附屬鐵管

海水ヲ風力又ハ蒸汽熱等ノ作用ニ依リ濃縮スルニ用ウルモノ

オ 海水、鹹水輸送裝置

海水、鹹水貯藏桶又ハ貯藏裝置

ワ 鹹水濾過器

鐵釜、竈、汽鑪、汽管、原動機、沈澱槽、結晶槽

ヨ 鐵釜、竈、汽鑪、汽管、原動機、沈澱槽、結晶槽

石釜、築造材料トシテ用ウルモノ

タ 綠金、隅金、鈞金、目安金

釜中ノ鹽ヲ搔キ集ムルニ用ウルモノ

レ 煙 突

釜中ヨリ鹽ヲ擲ヒ上ケタル際母液ヲ垂ラス爲一時入レ置クモノ

ヲ 鹽揚箱、鹽揚桶

釜中ヨリ鹽ヲ擲ヒ上ケタル際母液ヲ垂ラス爲一時入レ置クモノ

ネ 苦汁槽、苦汁溜

蒸汽熱ヲ使用シ鹽ヲ製造スル煎煮用建物及原動力設備用建物

二 建 物

明治四十三年法律第 號第一條第三項ノ器具器械ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス

第三條 明治四十三年法律第 號第一條及第三條ニ依リ前條ニ定メタル器具器械又ハ建物ニ對シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ鹽及鹹水製造禁止後六十日以内ニ鹽製造者住所氏名、製造方法、器具器械又ハ建物ノ種類、品目、數量、現在位置、用途、原價、設備年月、保存年期、見積時價及製鹽禁止ニ基ク見積減價ヲ記載シタル申請書ヲ所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ計算ノ基礎及必要ナル説明ヲ附記シ且申請書ニ建物ノ圖面及登記簿謄本ヲ添附スヘシ

第三章 法律制定

第四條 明治四十三年法律第 號第一條第一項第三號第四號及第三條ノ物件ニ付利害關係者アルトキハ交付金下付請求者ハ其ノ關係者ノ同意ヲ表示シ

タル書類ヲ申請書ニ添附スヘシ

第五條 明治四十三年法律第 號第一條第一項第三號第四號及第三條ノ物件ニ付交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者鹽及鹹水製造禁止後鹽專賣官署ノ承

認ヲ受ケステ其ノ物件ノ位置、形狀ヲ變更シ又ハ之ヲ讓渡シタルトキ若ハ其ノ物件カ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ部分ニ對シ交付金ヲ下付セス

第六條 明治四十三年法律第 號第一條第一項第二號ノ鹹水賣渡代金ハ確實ナリト認ムル帳簿書類ニ依リ政府之ヲ決定ス

第七條 明治四十三年法律第 號第二條ノ鑑定人ハ二人以上トシ專賣局長官之ヲ選定ス

前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣官吏以外ノ者ヨリ選定スヘシ

第八條 明治四十三年法律第 號第二條第三項乃至第五項ノ決定ハ專賣局長官之ヲ爲ス

前項ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ決定書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第九條 前條ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲サムトスル者ハ決定書受領ノ日ヨリ十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ專賣局長官ヲ經テ更ニ大藏大臣ニ裁定ノ請求

ヲ爲スヘシ

第十條 大藏大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第七條ニ依リ選定シタル鑑定人以外ノ者ヨリ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ再鑑定ヲ爲サシム

前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣局官吏以外ノ者ヨリ選定ス

大藏大臣前條ノ請求ニ對シ裁定ヲ爲シタルトキハ其ノ裁定書ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ

第十一條 官吏以外ノ者ヨリ選定シタル鑑定人ニハ一日金三圓以内ノ手當ヲ支給ス

第十二條 官吏以外ノ者ヨリ選定シタル鑑定人ニハ左ノ範圍内ニ於テ旅費ヲ支給ス

一 汽車賃一哩ニ付金五錢以下

二 船賃一海里ニ付金五錢以下

三 車馬賃一里ニ付金二十錢以下

前項旅費ノ支給ハ内國旅費規則ニ準據ス但シ同規則第九條ハ此ノ限ニ在ラス

大藏省告示第 號

鹽專賣法施行細則第十一條ノ三及第四十條ノ二ニ依リ明治 年 月 日限左ノ區域ニ於テ鹽及鹹水ヲ製造スルコトヲ禁止ス

何縣

何縣 (何市、何郡ヲ除ク)

何縣

何郡

何郡ノ内何町、何村

何縣

(參考調査表)

鹽及鹹水製造制限見込表

市町村數	製造人員數	製鹽場數	製鹽地段別	製鹽許可高	生產高	全部ニ對スル禁止セムトスルモノ		全部ニ對スル存置セムトスルモノ	
						禁止セムトスルモノ	全部ニ對スル禁止歩合	存置セムトスルモノ	全部ニ對スル存置歩合
546	27,635	446	鹽田製鹽	8,257,490.4	1,245,094.358	333	6.06	215	3.94
			其ノ他ノ製鹽	6,722.6	28,365	18,198	65.9	9,437	34.2
			鹽田製鹽	973,523.302	991,513.419	446	1,000	1	1
			其ノ他ノ製鹽	17,990.117	1,312.7	9,128	65.5	4,809	34.5
			鹽田製鹽	973,523.302	991,513.419	2,371,420.4	28.7	5,886,070.0	71.3
			其ノ他ノ製鹽	17,990.117	1,312.7	6,371.3	94.2	391.3	0.58
			鹽田製鹽	973,523.302	991,513.419	240,016.342	1.93	1,005,078.016	8.07
			其ノ他ノ製鹽	17,990.117	1,312.7	28,365	1,000	847,468,968	87.1
			鹽田製鹽	973,523.302	991,513.419	142,807,047	1.44	1,123,740.4	0.69
			其ノ他ノ製鹽	17,990.117	1,312.7	13,227	1,000	848,706,372	85.6
			鹽田製鹽	973,523.302	991,513.419	1,312.7	1,000	1	1
			其ノ他ノ製鹽	17,990.117	1,312.7	1,312.7	1,000	1	1

備考

- 一 本調査ハ製鹽區域ヲ播磨、備前、備中、備後、安藝、周防、長門(除ク海ヲ)、淡路、阿波、讃岐、伊豫(宇和島除ク)、豊前、豊後(佐伯ヲ)ノ十三箇國及大島沖繩地方ニ限リ其ノ他ヲ禁止セムトスルモノナリ
- 二 生産高ハ明治四十年度同四十一年度ノ二箇年ノ平均ヲ掲ケ、其ノ他ハ明治四十二年四月一日現在ヲ以テ調査セリ
- 三 本表中ニハ副産鹽及再製鹽ヲ計入セス

製鹽業ニ對スル交付金額見込表

賠償金額	鹽田製鹽		其ノ他ノ製鹽	鹹水製造	計
	賠償金額	交付金額			
1,526,883	1,526,883	241,036	5,160	1,773,079	
305,377	305,377	48,207	1,031	354,615	

備考

- 一 賠償金額(賣上金額)ハ明治四十一年度ノ実績ヲ計上セリ
- 二 賠償金額ハ包装ニ對スル補償金ヲ計入セリ
- 三 交付金額ハ鹽賠償金額及鹹水賣上金額ノ二割ヲ計上セリ

第三章 法律制定

製鹽設備ニ對スル交付金額見込表

現在設備價額	三六、七八〇	門	器具器械	一、二六九、〇三七
禁止後設備價額	二一、三三三	門		
設備減價	一五、四四八	門		一、二六九、〇三七
交付金額				三五五、五八三
				九一三、四五五
				九一三、四五五

備考
一 建物ハ蒸汽熱ヲ使用セル製鹽工場ノミヲ計上ス
補充鹽 收入差益見込表

禁止高	一四、二八〇七、〇四七	斤	百斤當收入益	門 一、三四四	收入益金額	門 一九一九、三七七
補充高	一四、二八〇七、〇四七	斤				
差額	一、七一五	斤				二、四四九、一四一
						五二九、八一四

備考
一 内地鹽收入益ハ製鹽ヲ禁止セムトスル地域ノ平均賠償金額ニ依リ元賣捌人へ賣渡ノ計算ヲ以テ算出シタリ
二 補充鹽ノ收入益ハ左ノ計算ニ據ル

臺灣鹽	上、包裝	門	移入	輸價格	鹽收入	平均
	並、散	門				
關東州鹽	平均	門	移入	輸價格	鹽收入	平均
	平均	門				

補充鹽 回送費見込表

回送費支出見込高	一四、二八〇七、〇四七	斤	百斤當回送費	門 一、三三三	回送費	門 三二六、〇六八
回送費						
						九四、八二〇

備考

- 一 回送費ハ製鹽ヲ禁止スヘキ各地方二十州地方ヨリノ回送費ヲ算出計上シタルモノトス
- 二 回送費支出見込高ハ總回送費ノ三割ヲ政府ニ於テ負擔スヘキモノトシテ計上ス

經費減額見込表

俸給	一六、八二〇	門	高等官年額九百圓判任官月額二十八圓
廳費	二〇、七六〇		判任官一人當六十圓
旅費	二二、四八三		判任官一人當十五圓ト製造監視旅費判任官總員ノ二割年額百八十圓ト、指定引渡旅費二箇所一日ノ課程トシ一周一回ノ割日額一圓
雜給	五七、〇七二		雜給雜費ハ屋十三圓巡視十一圓小使九圓給仕五圓トシテ計上ス
計	二一七、一三五		
金額		備考	

備考

- 一 廢止スヘキ官署及減少スヘキ人員ハ左ノ見込ニ依リ計算ス

出張所	三七	廢止スヘキ官署
高等官	二〇	出張所
判任官	一	高等官
巡視	三四五	判任官
給仕	二〇七	巡視
小使	九四	給仕
	三七	小使
	九四	
		判任官ノ六割
		出張所二人派出所一人ノ割
		出張所一人ノ割
		巡視ニ同シ

地租減額見込表

現在	見込	地價	地租
現狀ノ儘使用シ得ヘキモノ 加工ノ上利用シ得ヘキモノ 利用ノ見込ナキモノノ			
減額		一八三、〇九三	九、九二三
禁止後		一七五、〇六三	九、七二三
減額		一三、六六八	八、六〇
		三七、八二四	二〇、四九六

整理計算金額一覽表

		金額	備考
交付金	製鹽業ニ對スルモノ	三五四、六一六	鹽及鹹水製造制限見込表中「禁止セムトスルモノ」ノ全部ニ對スル交付金額ヲ掲ク
	製鹽地ニ對スルモノ	二、五四四、八九〇	
計	設備ニ對スルモノ	九一三、四五五	
補充鹽收入差益		三、八一二、九六一	
補充鹽回送費		五二九、八一四	鹽及鹹水製造制限見込表中「禁止セムトスルモノ」ノ全部禁止後ニ於テ一箇年度間ニ於ケル見込金額ヲ掲ク
經費減額		九四、八二〇	
計		二二七、一三五	

整理年見積表

年	基金	收入差益	經費減額	計	交付金	回送費	基金利子	基金償却	計	殘	整理段別
第一年	1,100,000	166,741	68,336	1,100,000	1,133,355	29,842	72,000	1,135,077	1,100,000	35,077	七四八、三〇〇斤
第二年	1,100,000	351,995	144,260	1,696,255	1,279,726	62,997	144,000	2,099,532	1,696,255	403,277	四四、九四三、六七斤
第三年	1,100,000	518,736	222,596	4,331,332	3,822,926	92,839	226,000	2,099,532	4,331,332	477,999	八三、四一〇、八四斤
小計	3,600,000	529,814	227,135	7,496,949	92,839	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	798,999	四九三、七三〇斤
第四年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	七九八、六四五斤
第五年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	二二七、九一七斤
第六年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	—
第七年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	—
第八年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	—
第九年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	—
第十年	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	7,496,949	—	—
第十一年	3,600,000	4,331,332	1,732,541	9,559,975	3,822,926	756,579	1,262,831	3,600,000	9,833,371	227,604	—
累計	—	529,814	227,135	7,496,949	—	92,839	226,000	4,331,332	9,833,371	652,129	—

備考

- 一 收入差益、經費減額、回送費、基金利子ハ各年トモ逐次前年整理ニ對スル分ヲ計上ス
- 二 基金利子ハ年六歩トシテ計上ス
- 三 經費減額、段別及生産高ハ整理高ニ按分シ計上セリ

第二章 法律制定

明治四十二年九月以來審議會ヲ開クコト六回ニシテ同年十月二十二日ニ至リ修正可決スルニ至レリ其ノ修正ノ主ナル點左ノ如シ

- 一 建物及其ノ他ノ設備モ器具器械ト同ク總テ交付金ヲ下付スルコト
- 二 製造許可ヲ受ケ居ル者ト雖現ニ製造ヲ爲ス者ニ非サレハ交付金ヲ下付セサルコト
- 三 交付金ノ下付ハ土地又ハ建物設備器具器械ノ所有者ニ下付シ其ノ土地ニ對シ納稅義務者ナルト否ト其ノ器具器械ニ對シ質權者アルト否トヲ問ハサルコト
- 四 交付金ハ三百四十萬圓ニ限リ國債證券ヲ以テ下付スルコト
- 五 製鹽地ノ價額ヲ鑑定ニ付スヘキ場合ヲ明細ニ列記スルコト
- 六 行徳、渡波、吉田ノ各地方及奥能登ノ製鹽地ハ之ヲ存置シ十州地方ニ在リテモ產額寡少ニシテ不便ノ地ハ禁止區域ニ編入スルコト
- 七 整理ニ關スル細則案ハ法文改訂ニ伴ヒ更ニ改案シ別ニ鹽專賣法施行細則中ノ改正ヲ爲ササルコト

尙審議會ニ於テハ製鹽從業者ノ轉業ニ對シ交付金ヲ下付セサルヤノ論アリシモ禁止セムトスル製鹽地ハ概シテ農漁ノ副業ニシテ家族就業ノ者多ク製鹽專業ト認ムヘキ者多カラサルヲ以テ從業者ニ對シ別ニ轉業補償ヲ要セサルモノト爲シ製鹽業者ニノミ交付金ヲ下付スルコトヲ是認シタリ

此ノ外整理利益ヲ回送費ニ充當スル爲官費回送鹽ノ増加ヲ來シ從來鹽ノ回送販賣ヲ業トセル者ニ在リテハ自カラ營業上ノ壓迫ヲ蒙ムルモノアルニ至ルヘク從テ製鹽業者ト同様交付金下付ノ希望ヲ慫フルモノアルヘシト雖モ製鹽業者ハ固定資本ヲ投シ相當設備ヲ爲シ且祖先傳來ノ遺業多クシテ一朝其ノ稼業ヲ失フトキハ其ノ轉業ニ相當ニ日子ヲ要セサルヲ得ス回送販賣業者ハ大

ニ其ノ趣ヲ異ニシ其ノ業ヲ禁止スルニ非スシテ偶轉業ノ止ヲ得サルニ至ルヘキノミ而シテ賣買業者ノ多クハ他ノ賣買業ト相兼營シ其ノ業態トシテ特殊ノ設備ヲ施セルニ非ス且製鹽業者カ專ラ製鹽ニ於テ有セル特技ヲ以テ直ニ他ノ事業ニ應用シ難キモノアルト同日ノ談ニ在ラスシテ之カ轉業必シモ非常ノ困難ニ非サルヲ以テ回送賣買業者ニ對シ特ニ交付金下付ノ要ナキモノト爲シタリ

審議會ノ決定ニ依リ原案修正ノ結果ハ禁止區域内ニ於ケル段別ニ於テ四百六十餘町步生産高ニ於テ二千九百餘萬斤ヲ減シ交付金見込高ニ於テ四十六萬餘圓ヲ減スルコト、ナリ其ノ修正法律案ハ同年十一月八日ヲ以テ省議決定ヲ見ルニ至レリ其ノ全文左ノ如シ

修正法律案

第一條 鹽專賣法第六條及第四十條ノニ依リ鹽又ハ鹹水製造區域ヲ制限スル場合ニ於テハ政府ハ鹽又ハ鹹水ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ制限スルコトヲ得

鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽又ハ鹹水製造者、製鹽地所有者鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物、設備器具器械所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ左ノ各號ノ交付金ヲ下付ス

一 鹽製造者ニ對シテハ其ノ一年間納付鹽賠償金額ノ二割ニ相當スル金額

二 鹹水製造者ニ對シテハ其ノ一年間鹹水賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額

三 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

四 鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物、設備、器具器械所有者ニ對シテハ現ニ鹽又ハ鹹水製造ニ使用スル建物、設備、器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

前項ノ鹽又ハ鹹水製造者ハ明治四十二年十二月以前ニ於テ鹽又ハ鹹水製造ヲ許可ヲ受ケ現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ相續ニ因リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製造ノ許可ハ相續人ニ於テ受ケタルモノト看做ス

明治四十二年十二月ニ於ケル現狀ニ依リ鹽ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムヘキ土地及明治四十三年一月以後新ニ製鹽地トナリタル土地竝之ニ附屬スル建物、設備、器具器械ニ對シテハ第二項ノ交付金ヲ下付セス

第二項第四號ニ依リ交付金ヲ下付スヘキ建物、設備、器具器械ノ種類、數量ハ政府之ヲ決定ス

第二條 前條第二項第三號ノ製鹽地ノ價額ハ其ノ製鹽地ニ對スル納付鹽賠償金額ノ百分ノ十一ニ相當スル金額ノ二十倍トス但シ左ノ場合ニ於テハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

一 鹽田ニ依ラスシテ鹽ヲ製造スルトキ

第二章 法律制定

二 鹹水ノミヲ製造スルトキ

三 所有者ヲ異ニスル土地ニ於テ鹽ヲ製造シ各製鹽地ニ對スル納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキ

四 第二項ニ依リ納付鹽賠償金額ヲ定ムヘキ期間鹽ノ製造ヲ繼續セサルトキ

五 明治四十二年二月以後ニ於テ鹽ノ製造ニ著手シタルトキ

六 製鹽地ニ工事ヲ施シ未成工セサルトキ

前條第二項第一號及前項ノ納付鹽賠償金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム但シ明治四十二年二月以後鹽ノ製造ニ著手シタル場合ニ於テハ前條第二項第一號ノ納付鹽賠償金額ハ明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル

一 明治四十一年一月以前ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ明治四十一年及明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ノ平均

二 明治四十一年二月以後ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ明治四十二年ノ納付鹽賠償金額、明治四十一年一月以前ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケ同年二月以後ニ於テ鹽ノ製造ニ著手シタル場合亦同シ

前條第二項第二號ノ鹽水賣渡代金ハ前項ニ準シ之ヲ計算ス

前條第二項第三號ノ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

前條第二項第四號ノ鹽又ハ鹹水製造專用ノ建物、設備器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

第一項、第四項及第五項ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス

鑑定人ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 第一條ノ交付金ノ總額ハ三百四十萬圓以内トス

交付金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ五十圓未滿ノ金額ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス

政府ハ前項ノ規定ニ依リ給付ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第二節 制定及公布

法律案閣議提出、衆議院議事經過、貴族院議事經過、裁可及公布

前記法律案ハ明治四十二年十一月九日左ノ理由ヲ附シ閣議ニ提出シタリ

製鹽地整理ニ關スル法律案理由書

内地ニ於ケル製鹽地ハ微々タル小産地各所ニ散在スルモノ多ク而モ其ノ設備極メテ不完全ニシテ製鹽經濟上及專賣行政上ノ不便不利尠カラサルモノアリ依テ是等小製鹽地ヲ整理シ其ノ